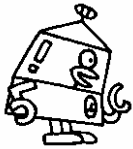


カボチャの花のつくりを教えて



カボチャの花は、下がふくらんだめしべだけのお花、おしべだけのお花の2種類があり、実になるのは、めしべだけだよ。

カボチャは、めしべとおしべが、同じ花の中にはない

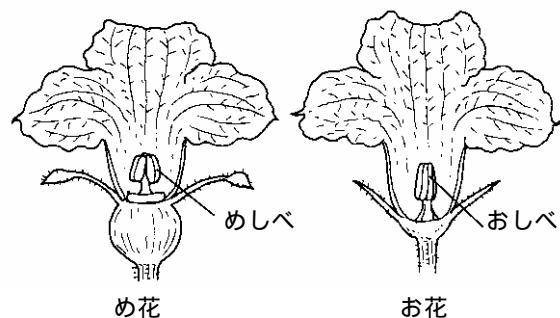
たいていの花は、アブラナと同じように、一つの花の中におしべとめしべがあります。ところが、カボチャやヘチマの花は、めしべだけがあるめ花と、おしべだけがあるお花の2種類に分かれています。め花は花の下の部分(子ぼう)がふくらんでいて、かならず1個ずつつきについています。たくさんの花がかたまっているのは、お花です。

め花のめしべの先に花粉がつかないと、カボチャの実はならない

め花のつぼみに紙ぶくろをかけて虫が入れないようにしておくと、そのめ花は、実ができずにかれて落ちてしまいます。さく前のお花のつぼみを全部とってしまうと、やはり、め花は実ができずにかれてしまいます。お花のおしべの花粉を、虫がめ花のてっぺん(柱頭)につけてくれると、め花に実がなります。

め花の数よりお花がたくさんついていて、順にさくようになっていくのは、どのめ花がさいたときも、かならず花粉がめ花に運ばれるようにするためです。花粉がないと、め花は実をつけることができず、たねもできないため、子孫を残すことができなくなるからです。

めしべの先(柱頭)がべとべとしていくのは、花粉がつきやすくするためであり、おしべにさわると粉がつくのは、花粉がとれやすくなっているためです。



カボチャの花